

瞳が緑に染まる、ぎふ。



インターネットでの情報提供

提供予定日 11月3日

| 平成21年11月2日 県政記者クラブ・高山市政記者クラブ配布資料 | | | |
|----------------------------------|--------|------|---------------------------|
| 担当所属 | | 担当者 | 電話番号 |
| 畜産研究所 | 飛騨牛研究部 | 小林直彦 | 0577-68-2226 |
| 畜産課 | 草地飼料担当 | 渡辺一己 | 058-272-8446 (内線 2877) |

平成21年度「岐阜県畜産研究所ふれあい報告会」並びに 「岐阜県飼料用米生産・利用拡大シンポジウム」を 開催します（参加募集・取材依頼）

岐阜県畜産研究所（所長 加藤 勉、高山市清見町）では、「安全」「安心」な牛、豚、鶏の畜産物供給を目指し、これら家畜・家きんの育種改良、飼養管理技術の開発などを進めています。

このたび、本年度得られた研究成果を中心に発表する「ふれあい報告会」を開催しますので、開催当日の取材をよろしくお願ひします。

また報告会終了後には、岐阜県耕畜連携農業推進連絡会議（会長 岐阜県農政部長 馬場 秀一郎）主催（共催；畜産研究所）による「岐阜県飼料用米生産・利用拡大シンポジウム」を開催します。JA庄内みどり遊佐営農課統括課長 佐藤 秀彰氏の基調講演の後、パネルディスカッションを行います。

1. 日 時

平成21年11月13日（金）

（受付）： 9時45分～

ふれあい報告会： 10時00分～12時20分

飼料米生産・利用拡大シンポジウム（講演会・パネルディスカッション）

： 13時00分～15時40分

2. 場 所

岐阜県農業技術センター 3F 会議室

岐阜市又丸729-1 TEL 058-239-3131

3. 「ふれあい報告会」発表課題名

①「安福」号体細胞クローン「望安福」について

（飛騨牛研究部 主任研究員 星野 洋一郎）

②飼料米給与による肥育試験経過報告

（飛騨牛研究部 専門研究員 大田 哲也）

③乳牛の飼料米給与技術の確立に向けて

（酪農研究部 専門研究員 浅井 英樹）

④豚肉質を改良する研究成果（種豚と飼料）の実用化について

（養豚研究部 専門研究員 吉岡 豪）

⑤飼料用籾米の鶏への給与が飼育成績及び肉質・卵質に及ぼす影響

（養鶏研究部 主任専門研究員 立川 昌子）

4. 「岐阜県飼料用米生産・利用拡大シンポジウム」

基調講演「先進地山形の飼料米生産利用の状況」

講師：JA 庄内みどり遊佐営農課統括課長 佐藤 秀彰 氏

パネルディスカッション

コーディネーター 岐阜大学応用生物科学部教授 荒井 聡 氏

JA 庄内みどり遊佐営農課統括課長 佐藤 秀彰 氏

(株) 笠郷営農組合 代表取締役 小野 敏 氏

(農) 荒城営農組合 組合長 田中 利博 氏

岐阜養鶏農業協同組合 理事 後藤 徳彦 氏

全国農業協同組合連合会 畜産総合対策部 整備推進課

調査役 遠藤 雄士 氏

畜産研究所 専門研究員 浅井 英樹

中山間農業研究所 主任研究員 広瀬 貴士

5. 申込方法

- ・別紙「参加申込書」に必要事項を記載の上、FAX、メールにより岐阜県畜産研究所に提出してください。
- ・申し込み締め切り：11月9日（月）

6. その他

定員 80 名程度、参加費は無料です。

申込用紙の必要な方は、岐阜県畜産研究所飛騨牛研究部（0577-68-2226）に御連絡ください。

参加申込書

平成 21 年度「畜産研究所ふれあい報告会」 「岐阜県飼料用米生産・利用拡大シンポジウム」

岐阜県畜産研究所 宛て（担当 小林 直彦）

Tel 0577-68-2226 Fax:0577-68-2227

Mail: c24509@pref.gifu.lg.jp

| |
|---------------------|
| 企業・組織名 |
| 所在地 |
| 連絡先 電話 メール |
| 氏名（参加予定の全員をご記入ください） |
| 備考 |

- * 昼食について、弁当の予約を受付けます。希望される方は備考欄にその旨をご記入ください。
（800 円程度、お茶付き：代金は当日お預かりします）
- * ご記入いただいた個人情報は当報告会の運営業務に限り使用します。